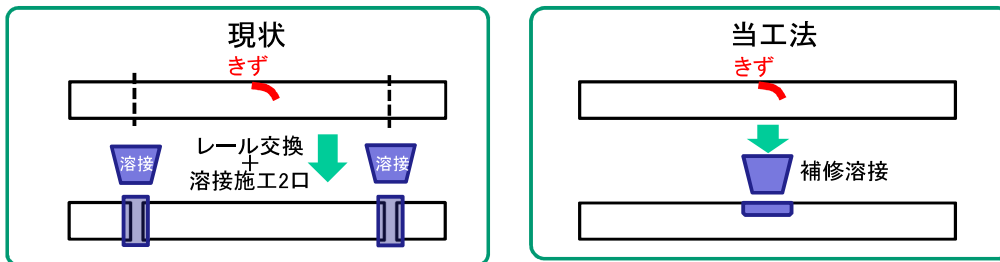


テルミット頭部補修溶接法を用いたレール補修方法

(Rail Head Repair using Alumino-thermic Welding)

【概要】

近年、シェリングきず等のレール頭部損傷が増加しており、その効率的な対策が求められています。現状では、損傷箇所を中心に数mのレールを交換することで対処していますが、これには多くの手間とコストを要します。そこで、レール交換を必要とせず、損傷箇所のみを補修できる手段として、テルミット溶接を利用したレール頭部補修方法を開発しました。



【特徴】

▶ 現行のテルミット溶接と同様の手順で施工が可能です。

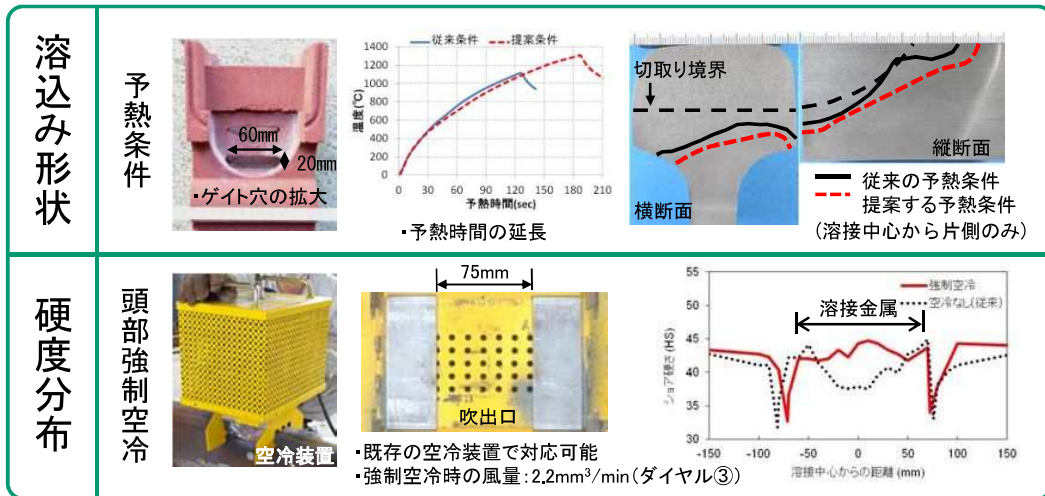


▶ レール交換および設定替が必要ありません。

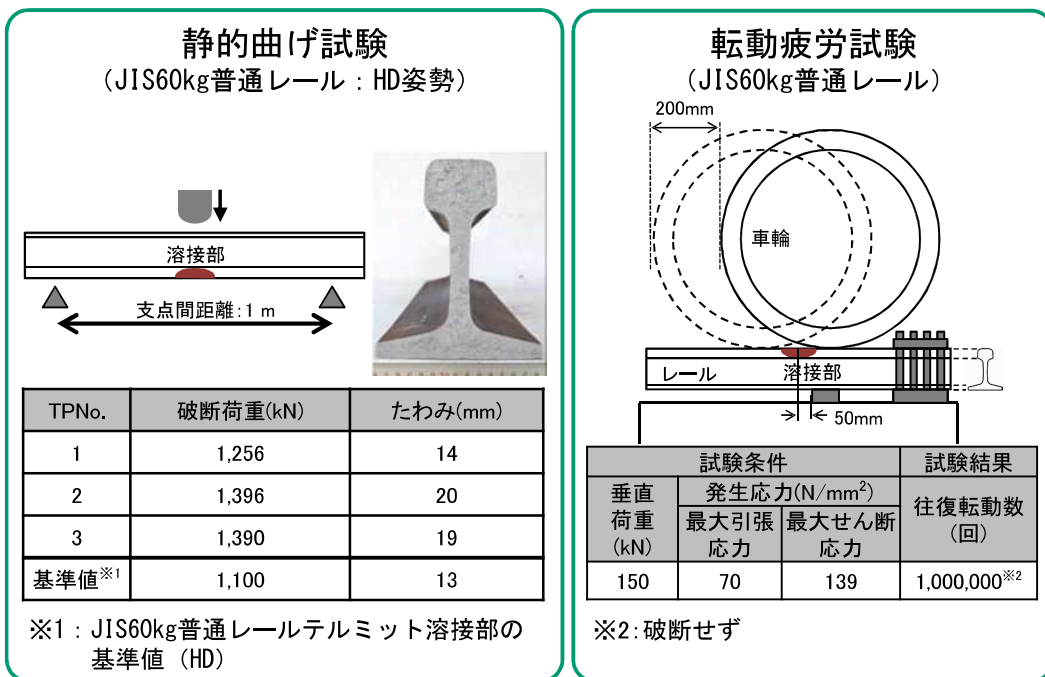
【用途】

- ・切取り範囲内に収まるレール頭部損傷を補修することが可能です。
- ・対象レールは、JIS60kgレールおよび50kgNレールです。

十分な溶込み量およびレール母材と同等の硬さが得られます



信頼性の高い補修溶接部を達成できます



特許出願中:「鉄道用レール傷補修方法及びその装置」



公益財団法人鉄道総合技術研究所
軌道技術研究部 レール溶接